

# 豊田版



バラ  
谷口 定雄  
パレットの会所属  
ニュース、情報は下記へ  
社会部  
052-231-1650・5919  
Eメール  
shakai@chunichi.co.jp

豊田支局 〒471-0849  
豊田市美山町3-34-34  
0565-24-1010 Fax25-1118  
岡崎支局 〒444-0863  
岡崎市東明大寺町16-18  
0564-22-1661 Fax25-1554  
刈谷通信局  
0566-21-0077 Fax26-0285  
安城通信局  
0566-76-3355 Fax76-0900  
西尾通信局  
0563-56-3135 Fax56-3136  
碧南通信局  
0566-41-0468 Fax43-1047  
豊橋総局  
0532-52-7181 Fax54-4655

中日新聞へのご意見は  
読者センターへ  
052-221-0800 Fax221-0819  
Eメール  
center@chunichi.co.jp

広告のお申し込みは  
広告局三河アドセンターへ  
岡崎 0564-23-3051(代)  
掲載写真を購入希望の方は  
最寄りの中日新聞販売店へ

**秋田病院**  
医療法人  
●整形外科 ●リウマチ科  
●内科 ●胃腸科  
●リハビリテーション科  
(その他7科目)

# 農福連携 みよし市も

障害のある人たちの雇用促進を目的としたハウス農園「わーくはびねす農園」が十一月、みよし市明知町にオープンする。開設するのは障害者の就労を支援する「エスプールのプラス」(東京都)で、障害者の雇用を希望する企業に農園を貸し出し、働き手となる障害者を紹介する。

同社が県内に農園を開くのは二〇一六年十一月に開設した豊明市に続き二カ所目。一定規模以上の民間企業に義務付けられる、従業員に占める障害者の割合(雇用率)が今年四月に2%から2.2%に引き上げられた。業務内容などにより社内の受け入れが難しい企業から農園を活用した雇用の要望が見込まれる。みよし市では、豊明市での事例を踏まえて市が誘致した。

物は各企業の判断で社内で配布するなどしてもらおう。  
農園の完成に先立ち、みよし市とエスプールのプラスは七月下旬、市民を優先的に雇用することを目的とした協定を締結した。締結式は市役所であり、小野田賢治市長と同社の和田一紀社長執行役員が協定書に署名した。

市内では就労を希望する障害者を対象にした説明会が八、九月に開かれる。市文化センター「サンアート」では八月九、十一、二十三、三十日、市図書館学習交流プラザ「サンライズ」では八月二十五日、九月六、八、十二日。説明会への参加希望者は申し込みが必要。市福祉課 0561(32)8010

## 「わーくはびねす」11月オープン



みよし市の農園では、七千七百五十平方メートルにビニールハウス三棟が並び、区画を分割して企業に有料で貸し出す。三棟で計四十三人が働くことができ、月給は雇用する企業から十一万円ほどが支払われる。

同社によると、ハウス内ではトマトや白菜など通年で約四十種類の野菜や果物が栽培できる。水耕栽培に近い養液栽培のため、くわなどのけがの原因と

協定書を手にする小野田市長(右)と和田社長執行役員(左)みよし市役所で千葉県柏市の「わーくはびねす農園」(エスプールのプラス提供)